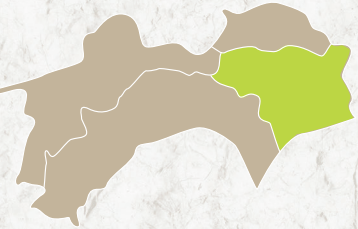
[阿波の国 徳島県]

発心の道場 23カ寺

四国霊場は発心の道場（徳島県）、修行の道場（高知県）、菩薩の道場（愛媛県）、涅槃の道場（香川県）と、人生にたとえられる。発心とは悟りを求めて発願することで、一般的にお遍路の旅は一番札所から第一歩を踏み出し、八十八ヶ所ある札所を時計回りに巡る。



第1番札所 竺和山一乗院 霊山寺 りょうぜんじ

聖武天皇（在位724〜749）の勅願により行基が開基。弘仁6（815）年、弘法大師は衆生の煩悩を浄化するとともに自らの厄難を祓って、心身の救済ができる霊場を開くためにこの地を訪れ、修法した。霊感を得た大師は当寺の本尊の前に念持仏の釈迦誕生仏像を納めて第一番札所と定め、四国を右廻りに巡る遍路道を創った。

宗派：高野山真言宗
本尊：釈迦如来
開基：行基菩薩
住所：鳴門市大麻町板東塚鼻126
電話：088-689-1111
宿坊：なし

第2番札所 日照山無量寿院 極楽寺 ごくらくじ

弘仁6（815）年、この地で弘法大師が修法し、結願の日に阿弥陀如来の姿を彫造して本尊とした。この像が発する光は遠くの海まで達して漁の妨げになったので、本堂の前に人工の小山を築いて遮ったという。天正年間（1573〜92）に長宗我部元親の兵火で焼失したが、万治2（1659）年に蜂須賀光隆によって再建された。

宗派：高野山真言宗
本尊：阿弥陀如来
開基：行基菩薩
住所：鳴門市大麻町檜字段の上12
電話：088-689-1112
宿坊：あり（150人）

第3番札所 亀光山釈迦院 金泉寺 こんせんじ

聖武天皇（在位724〜749）の勅願により行基が寺塔を建立し、「金光明寺」と命名したと伝えられる。弘仁年間（810〜824）に弘法大師が日照りに苦しんでいる村人を見て井戸を掘ったところ、霊水が湧き出たという。以来、この井戸は「長寿をもたらす黄金の井戸」とされ、寺名の「金光明寺」を改め、「金泉寺」とした。

宗派：高野山真言宗
本尊：釈迦如来
開基：行基菩薩
住所：板野郡板野町大寺字亀山下66
電話：088-672-1087
宿坊：なし

第4番札所 黒厳山遍照院 大日寺 だいにちじ

弘仁6（815）年、弘法大師が大日如来像を彫造し、この像を本尊として創建。この本尊にちなんで寺号を「大日寺」と命名したと伝えられる。興廃した時期もあったが、応永年間（1394〜1428）に松法師という僧に夢の託言があり、修復されたと寂本（1631〜1701）が著わした『四國霊場記』に記されている。

宗派：東寺真言宗
本尊：大日如来
開基：弘法大師
住所：板野郡板野町黒谷字居内5
電話：088-672-1225
宿坊：なし

第5番札所 無尽山荘厳院 地蔵寺 じぞうじ

嵯峨天皇（在位809〜823）の勅願により、弘仁12（821）年に弘法大師が開基。大師は勝軍地蔵菩薩を彫像し、本尊とした。その後、紀州熊野権現の導師を務めていた浄函上人が霊木に延命地蔵菩薩像を刻み、その胎内に大師作の像を納めたとも伝えられている。勝軍地蔵菩薩の信仰からか、武将たちが多くの寄進をしている。

宗派：真言宗御室派
本尊：延命地蔵 胎内仏・勝軍地蔵菩薩
開基：弘法大師
住所：板野郡板野町羅漢字林東5
電話：088-672-4111
宿坊：なし

第6番札所 温泉山瑠璃光院 安楽寺 あんらくじ

弘法大師によって温泉湯治の利益が伝えられた旧跡で、大師が人々を病苦から救う薬師如来を祀ったのが縁起とされる。桃山時代に阿波藩祖の蜂須賀家政が「駅路寺」と定め、遍路や旅人の宿泊、茶湯接待の施設を置いた。以来、宿坊は400年の歴史を有し、現在も大師堂前から湧き出ている温泉が遍路の疲れを癒してくれる。

宗派：高野山真言宗
本尊：薬師如来
開基：弘法大師
住所：板野郡上板町引野8
電話：088-694-2046
宿坊：あり（300人・温泉あり）